

弊社の取り組みについて

有限会社奥進システム 奥脇 学

レジュメ

1. 弊社の紹介（業務内容、雇用背景、現状）
2. 障がい者雇用のきっかけと配慮
3. 障がいのある方を雇用しての感想、課題

1. 弊社の紹介

- 受託ソフトウェア開発業
- お客さんからの要望を聞き、1からプログラムを製造する。
- 特にWeb技術に特化
(Webブラウザで使用できるもの)
- 顧客管理システム
- 受発注管理システム
- ショッピングサイト

弊社の障がい者雇用への背景

- システム開発＝分散開発可能
- 在宅勤務ベース
- SOHO、母子家庭、障がい者

弊社の現在の雇用状況

- スタッフ6名
- 障がいを持つ方: 4名
頸椎損傷: 2名、内部障がい(透析): 1名
精神障がい: 1名
- 一人親家庭の母親: 2名
- 精神障がい、広汎性発達障がい: 2名長期実習中

2. 障がい者雇用のきっかけと現状

- ・大阪市障害者職業リハビリテーションセンターからの紹介(2006年)
- ・在宅勤務希望(ここが一番のポイント)
- ・「社会と関わっていたい」という強い希望
- ・状態はかなり悪く見える。
- ・駄目で元々、3ヶ月施設内実習
- ・1週間に1日訪問で力量を見る
- ・効率面、支援がどの程度まで必要か？

1人目、入社時の配慮

- 今までの事務所たたむ(階段だから)
- エレベータのあるパートナーさんに間借り
(1週間に1度出社)
- 駅から会社まで付き添い
- 食事、飲み物の用意、室温、書類整備、ノート取り
- 足の移動、尿のつまり、霧吹き等など
- 年一度の家庭訪問

配慮：トラックボール



2人目

- 職リハの後輩
- 在宅勤務が嫌。それじゃ事務所借りよう。
- ついでに助成金を利用してバリアフリーに改装
- 1ヶ月の実習(事務所の用意が出来るまで)

改装前トイレ



改装後トイレ



改装後引き戸



3人目

- 内部障がい(透析)
- 短時間勤務の適用

4人目

- 精神障がい
- 就労移行支援事業所から5ヶ月間の実習
- 振り返り、細かなフォロー
- フォローできるような自社システム開発

3. 障がいのある方を雇用しての感想、課題

- 障がいのある方は十分企業にとって戦力となる
- 障がい者雇用はやってみなければわからない。特に仕事の領域など。
- 人の問題は机上の空論より、トライ&エラー
- 設備面もその人に合わせた配慮をすれば負担にはならない。
- 中小企業は障がい者雇用の課題より、経営課題の方が重要。